

2026 年度 入学試験問題

# 数 学

(1 科目 100 点 45 分)

2026 年 2 月 5 日 (木) 3 時限目実施

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この注意事項は、よく読んでください。
3. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 次のことには十分注意してください。
  - ① 解答用紙には、受験番号を記入することを忘れないこと。
  - ② 答えはすべて解答用紙に記入すること。
  - ③ 不正行為はしないこと。

解答については、間違いのないように十分注意し、記入してください。

東 奥 義 塾 高 等 学 校



**1**

次の(1)～(8)に答えなさい。(43点)

(1) 次のア～オを計算しなさい。

ア  $-2+7$

イ  $-2^3 - \{5 + 4 \times (-2)^2\}$

ウ  $(3x^2 - 2x - 1) - 3(-2x^2 + 3x + 5)$

エ  $(-8ab)^2 \div 16a^3 \times \frac{1}{2}ab$

オ  $\sqrt{27} + \frac{15}{\sqrt{3}}$

(2) ある製品を定価の20%引きの $a$ 円で購入した。このとき、ある製品の定価を $a$ を用いた式で表しなさい。

(3) 右の表は3年A組の生徒の握力をまとめたものである。握力の弱い方から数えて20番目の生徒が入っている階級の相対度数を求めなさい。

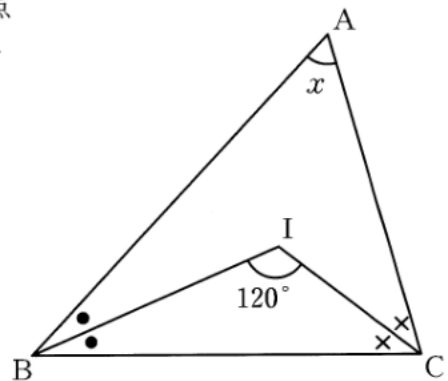
握力 Kg	度数
以上～未満	
0～10	0
10～15	3
15～20	9
20～25	10
25～30	13
30～35	4
35～40	1
合計	40

(4) 次の方程式を解きなさい。

$$3x^2 - x - 1 = 0$$

- (5) 6人のダンス部員がいる。このうち2人が全国大会に出場するとき、2人の選び方は何通りあるか、求めなさい。

- (6) 右の図で、 $\angle B$ 、 $\angle C$ のそれぞれの二等分線の交点をIとする。 $\angle BIC = 120^\circ$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



- (7) 次のア～エについて、適切であるものをすべて選び、その記号を書きなさい。

- ア 二等辺三角形は線対称な図形である。
- イ 平行四辺形は線対称な図形である。
- ウ 正三角形は線対称であり点対称な図形である。
- エ 正六角形は線対称であり点対称な図形である。

- (8) ガソリン 5L につき 80km 走る自動車がある。ガソリン 12L では  $x$  km 走ることができ、600 km 走るためには  $y$  L のガソリンが必要である。 $x, y$  を求めなさい。

2

次の(1)、(2)に答えなさい。(12点)

- (1) 右の図の3点A, B, Cから等しい距離にある点Pを, 作図によって求めなさい。ただし, 作図には定規とコンパスを使用し, 作図に用いた線は消さないこと。



- (2) 下の【問題】とそれについて考えているケイさんとヨウさんの会話を読んで, 次のア, イに答えなさい。

【問題】

右の図のように, 1から5までの数字が書かれたカードがある。このカードから同時に2枚を取り出し, 大きい方の数字を  $x$  座標, 小さい方の座標を  $y$  座標にした点をとる。この点を直線  $y = x - 3$  または直線  $y = 3$  が通る確率を求めなさい。



ケイ: 例えば, 2のカードと4のカードを取り出したら  $x=4, y=2$  となるけど, 点(4, 2)は直線  $y = x - 3$  または直線  $y = 3$  も通らないね。2つの直線について考えていくのは大変そうだね。

ヨウ: そうだね。カードの取り出し方を樹形図で確かめると ①通りあるよ。まずは ①通りのひとつひとつの点を直線  $y = x - 3$  が通るか確かめてみてはどうかね。

ケイ: なるほど。直線  $y = x - 3$  が通る点になるカードの取り出し方は ②通りあるね。

ヨウ: 次は直線  $y = 3$  が通る点になるかを確かめてみると ③通りあるよ。

ケイ: ①通りと ③通りの中にカードの取り出し方が同じになっているものはないだろうか。

ヨウ: 取り出し方が同じになっているものはないね。2つの直線について考える問題でも1つずつ考えて整理していくと【問題】を解くことができそうだね。

ケイ: もしかしたら取り出し方が同じになっている問題もあるのかな。

ヨウ: そうかもしれないね。よし, 直線の式を変えて問題を作ってみよう。

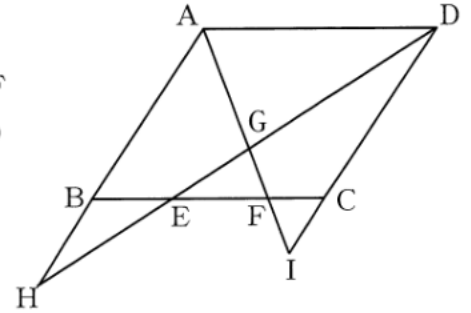
ア ① ~ ③ にあてはまる数をそれぞれ書きなさい。

イ 【問題】を解きなさい。

3

次の(1), (2)に答えなさい。(12点)

- (1) 右の図のように、平行四辺形 ABCD の辺 BC 上に、  
 $BE:EC=1:3$ ,  $BF:FC=2:1$  となるような点 E, F  
 をとる。AF と DE の交点を G, AB と DE の延長の  
 交点を H, AF と DC の延長の交点を I とするとき、  
 次のア~ウに答えなさい。



- ア  $\triangle BAF$  と  $\triangle CIF$  が相似になることを次のように証明した。  と   
 には適切な角を,  には適切な内容をそれぞれ書きなさい。

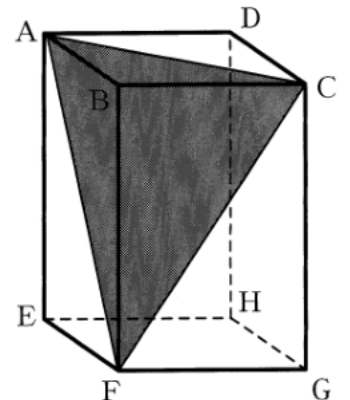
[証明]

$\triangle BAF$  と  $\triangle CIF$  において、  
 対頂角は等しいから  
 $\angle BFA = \angle CFI$  ……①  
 $AB \parallel CI$  より、錯角は等しいから  
 =  ……②  
 ①, ②から  から  
 $\triangle BAF \sim \triangle CIF$

- イ  $DC:CI$ ,  $BE:FC$  のそれぞれの比を最も簡単な整数の比で答えなさい。

- ウ  $\triangle BEH$  の面積は,  $\triangle CIF$  の面積の何倍であるか求めなさい。

- (2) 右の図のような,  $AB=AD=2\text{ cm}$ ,  $AE=4\text{ cm}$  の直方体があ  
 る。次のア, イに答えなさい。



- ア 三角錐 ABCF の体積を求めなさい。

- イ  $\triangle AFC$  を底面としたときの三角錐 ABCF の高さを求めなさい。

4

図1で、①は関数  $y = ax^2$  ( $a > 0$ ) のグラフである。点 A は①上にあり、 $x$  座標が  $-4$  である。点 B は  $x$  軸上にあり、点 A, B は  $x$  座標が等しい。2 点 A, B 間の距離は  $8\text{ cm}$  である。また、②は関数  $y = \frac{4}{3}x^2$  のグラフである。点 E, F は②上にあり、 $y$  座標が等しく、2 点 E, F 間の距離は  $3\text{ cm}$  である。次の (1), (2) に答えなさい。ただし、座標軸の単位の長さを  $1\text{ cm}$  とする。(16 点)

(1) 次のア, イに答えなさい。

ア  $a$  の値を求めなさい。

イ 点 E, F の  $y$  座標を求めなさい。

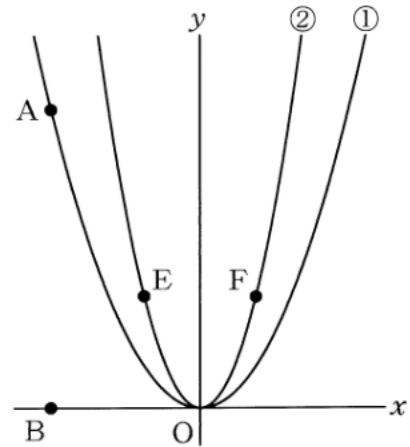


図1

(2) 図2は、図1に長方形 ABCD と長方形 EFGH をかき加えたものである。点 D は①上の点であり、点 C, G, H は  $x$  軸上にあり、長方形 EFGH の対角線の交点を I とする。次のア, イに答えなさい。

ア 点 I の座標を求めなさい。

イ 四角形 EIHB の面積を求めなさい。

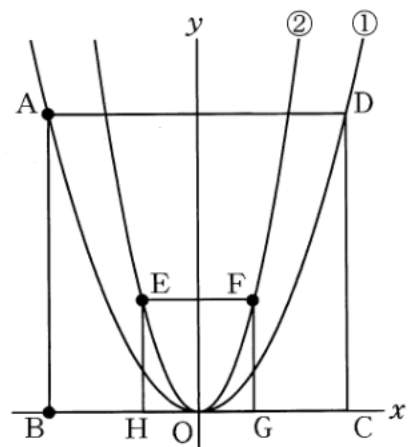


図2

5

下の会話文は、アヤさんと先生が、下の図1のように、1辺の長さが1 cm の正方形を、1段、2段、3段、……と積で階段を作ったときの、周の長さについて考えている様子である。

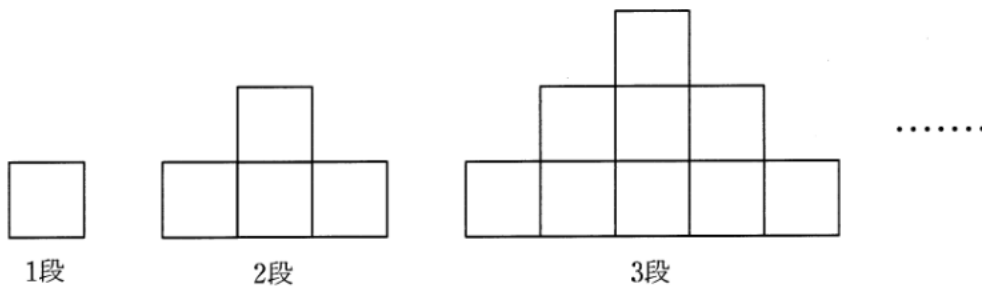


図1

次の(1)、(2)に答えなさい。(16点)

- (1) 以下の会話文を読み、、、には数を、には式を、には次の①～③の中から1つ選び、その記号を書きなさい。

《の選択肢》

- ① 段を積んだときに増える正方形の数
- ② 段を積んだときに増える階段の底辺の長さ
- ③ 段を積んだときに増える周の長さ

先生：図1のように正方形を1段ごとに積んでいきましょう。まずは周の長さがどのように変化していくか考えてみましょう。3段のときの図形の周の長さはどうなりますか。

アヤ： cm です。

先生：1段のときから規則的にみると、7段のときの図形の周の長さは何 cm になるかな。

アヤ： cm になりました。

先生： $x$ 段のときの図形の周の長さを $y$  cm とします。 $y$ を $x$ を用いて表してみましょう。

アヤ： $y =$  となります。

先生：ここで求めた1次関数の式で、変化の割合は何を表しているのでしょうか。

アヤ：1段前からの変化を考えると、を表していると思います。

先生：素晴らしいですね。変化の様子を数学的に考えることができましたね。そうすると、どんなに段が増えても、周の長さを簡単に考えることができますね。例えば338段のときの図形の周の長さはどうなりますか。

アヤ： $x$ に代入すればよいので、 cm になります。

先生：その通りですね。よくできましたね。

- (2) 以下の会話文を読み、、には数を、には式をそれぞれ書きなさい。

先生：続いて面積について考えてみましょう。5段のときの図形の面積はどうなりますか。

アヤ：周の長さを求めたときのように考えたら、  $\text{cm}^2$  になりました。

先生：これも  $x$  段のときの図形の面積を  $y \text{ cm}^2$  として、 $y$  を  $x$  を用いて表してみましょう。

アヤ： $y =$  となりました。

先生：素晴らしいですね。周の長さを考えたときと同じように考えると、どんなに段が増えても、面積も同じように考えることができますね。例えば45段のときの図形の面積はどうなりますか。

アヤ： $x$  に代入すればよいので、  $\text{cm}^2$  になります。

先生：その通りですね。よくできました。

